

全国でも珍しい公設民営。日本酒醸造、始まる！



11月7日、今春から建設が進んでいた東川町酒造施設の完成を祝い、落成式を行いました。

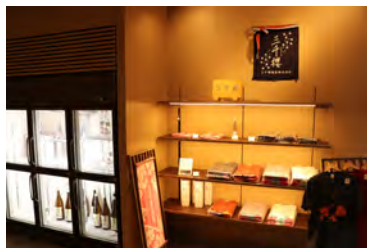
全国でも珍しい公設民営の酒蔵で、昨年12月に行ったプロポーザル（企画提案）を経て町から運営委託を受けたのは、岐阜県中津川市の老舗・三千櫻酒造。現役の酒蔵が越境移転するのも珍しいケースです。

松岡市郎町長は「東川の自慢である“おいしい水”と“うまい米”の新たな象徴として酒蔵ができたことは夢のような出来事。プロジェクトに関わった方々やご理解いただいた町民のみなさん、初挑戦で良質な酒米4ヘクタールを生産してくれたJAひがしかわに感謝しています。また、歴史ある酒蔵を他の町に譲ることは、中津川市民の方々にとっては寂しいことだったはず。早く送り出してくれたことにも心からお礼申し上げます。町をあげて盛り上げていきたいと思えます。」と謝辞と未来への希望を述べました。

落成式後、7日・8日に行った施設の内覧会には計400人以上の方が来訪。町民のみなさんの注目度の高さも垣間見えました。

建設費：約3億5千万円
うち国費：約3億円
(補助金約1億円、交付税措置約2億円)

東川の地で醸造された日本酒は、来年1月中旬ごろから販売開始予定。
この町の自慢にまた一つ、加わります。



▲店内のショップでは、お酒の他に前掛けやTシャツも販売中。



▲巨大な仕込タンク。この中で約1ヵ月かけてお酒ができます



みちざくら 三千櫻酒造とは

1877（明治10）年創業。
岐阜県中津川市で140年以上の歴史を積み重ねてきた、「知る人ぞ知る」酒蔵です。
6代目にあたる山田耕司社長は、「新天地で新たなスタートを切ることになりました。改めて、みなさんと共に東川の酒蔵を発展させ、良い酒をつくっていききたい」と志を語りました。

これから東川の地で、みなさんと共に新たな歴史を紡いでいきます。
あたたかい応援、よろしくお願いいたします。

どんなお酒ができるの？

既存の三千櫻酒造銘柄に加え、酒米品種である東川産「彗星」や「きたしずく」で醸造した東川オリジナル日本酒を展開していきます。そのほか、リキュールや濁酒、甘酒などの製造も予定しています。

道草館、キトウシ物産センターなどで販売するほか、ひがしかわ株主制度（ふるさと納税）の返礼品としても登場予定です。



【問合せ】 産業振興課 農業振興室
☎0166-82-2111 内線136

三千櫻酒造(株) 西2号北23番地
営業時間 10:00-16:00 水曜定休

☎0166-82-6631